

**困難乗り越え生まれた中辛今につながるカレーの軌跡**

利用者さんの工賃アップを目指し、平成26年7月に設立された「カレー工場」。安永さんを含めてカレー業とは無縁だった職員3人と、高い工賃がもらえると聞きつけた利用者12人からカレー製造事業が始まりました。当初は、某スパイスメーカーからの製造委託業務以外の仕事はなく、振るわない工賃に利用者も徐々に減少。このままではダメだと感じた安永さんは、オリジナルカレーの製造に踏み切ります。

できるだけ簡単な方法で、現状の設備で就業時間内に作ることで、誰もが美味しいと感じるカレーを実現するため、業務後にオリジナルカレーの開発を続けた安永さん。約2年の月日を費やし、ついに「ジョブカレー」の定番「中辛」を完成させます。その後、利用者や他の職員からの意見で、「甘口」と「辛口」も誕生。工場オリジナルの「ジョブカレー」ができたことで、現在につながる12企業との取引や地域のイベントへの出店に結びつき、現在では、カレー工場の収益だけで黒字を維持する事業へと成長したのです。



1 カレーの調理、袋への充填、計量・調整、真空化するための圧着、検品。各々の持ち場でライン作業をスムーズにこなす利用者たち。2 ②から、圧着が斜め、圧着部分にカレー付着、空気の入りが過ぎという理由から不合格。一切妥協のない商品作りがモットー。3 新商品のビーフシチューを製造中。



上の列⑥から、「ジョブサポートみろく」のカレー工場で主任を務める職員の安永雅幸さんと、工場に勤める利用者のみなさん。

Information ▶ 第19回「豊徳祭」を開催します！



社会福祉法人「豊徳会」主催の一大イベント「豊徳祭」が今年も開催決定。多彩なステージや豪華景品が当たる「大抽選会」、地元飲食店による出店など楽しい企画が多数催されます。飲食ブースでは、「ジョブカレー」の出店・販売（1杯300円/左下のクーポン券持参で一杯200円）も！この機会に「ジョブカレー」を堪能してみませんか。

【EVENT GUIDE】

日時 ▶ 10月19日⑤ / 11～15時  
場所 ▶ 方城体育館（雨天決行）  
◎ 社会福祉法人豊徳会 ☎ 22-7705



ジョブカレークーポン券  
100円引き  
※第19回豊徳祭限定  
※1枚1杯まで

**最低賃金への工賃アップ 目指しさらに販路開拓へ**

「ある利用者さんに初の工賃を渡した時、給料袋から1万円を出した瞬間の嬉しそうな顔が今でも頭に焼き付いています。たったの1万円なんだけど、利用者さんにとって価値のある1万円なんだと。頑張った良かったという感情と同時に、労働に見合う工賃をもっと出してあげたいと決意した瞬間でした。」

安永さんは、目頭を熱くしながら

今後の展望を見据えます。

「今の月額平均工賃は4～6万円ですが、今後の目標は最低賃金にまで工賃を上げること。そのためには、生産ベースを2500kg、12500食分に引き上げなければいけません。ジョブカレーは現在、カレー工場、伊方地区に設置する自動販売機、大分県と豊前市で展開するスーパー細川、イベント出店でしか販売していませんが、さらに販路を開拓し、ジョブサポートに通う利用者さんの工賃アップを目指していきます。」

Story 1 社会福祉法人 豊徳会「ジョブサポートみろく」

# ジョブカレー

今年で設立10周年を迎えた「ジョブサポートみろく」の「カレー工場」。現在では多くのファンをもつ「ジョブカレー」ですが、その誕生には大きな困難が…。今に至るまでの軌跡と今後の展望をご紹介します。



**大人気「ジョブカレー」で 運命を切り拓く挑戦へ**

さまざまな要素が複合的に重なり合って生じる深いうま味が口いっぱいに広がったと思いきや、汗が吹き出るほどピリッとしたスパイシーな辛味が後から追いかけてくる「ジョブカレー」。

一度食べるとクセになる本格的なこの欧風カレーは、多機能型労務継続支援B型事業所「ジョブサポートみろく」の一角に設けられた「カレー工場」で製造・販売されています。

現在このカレー工場では、身体障がいや精神障がい、知的障がいなどのハンディキャップをもつ利用者10人が勤務。支援に入るスタッフ3人と一緒に、「ジョブカレー」や、企業から製造委託された他社ブランドのカレーなどを、毎月約1500kg、約7500食分も製造しています。今では「みろくのカレー」として多くの人に親しまれている「ジョブカレー」。「ここに至るまでには多くの困難があった」と、工場主任を務める安永雅幸さんは振り返ります。